

宇部市バイオマス産業都市構想の概要

山口県宇部市、人口約17.0万人、面積約2.9万ha

構想の概要

産官学民一体となったまちづくりを推進しており、工業都市としての高い技術力を活かした食品廃棄物、竹、紙ごみ、紙おむつなどの未利用バイオマスを活用したビジネスの創出に取り組む。

1. 将来像

- ①地域資源を有効に活用し、持続可能で環境にやさしいまち
- ②環境ビジネスや環境保全型の農林業が盛んな、にぎわいと魅力あふれるまち
- ③産官学民連携の「宇部方式」により、市民一人ひとりが主役となる元気なまち
- ④エネルギーを自給でき、災害に強く、安心に笑顔で暮らせるまち

3. 目標(10年後)

- ①廃棄物系バイオマス（全利用59%）
 - ・家畜排せつ物、事業系生ごみ剪定枝、汚泥等:100%維持
 - ・一般家庭ごみ、紙ごみ、紙おむつ:事業化プロジェクトによる有効利用
- ②未利用バイオマス（全利用79%）
 - ・稲わら、もみ殻等:100%維持
 - ・竹材:事業化プロジェクトによる有効利用

6. その他

- ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27.10)」
- ・「一般廃棄物処理基本計画(H23.2)」
- ・「再生可能エネルギー導入指針(H25.2)」
- ・「宇部市バイオマス活用推進計画」(予定)

2. 事業化プロジェクト

- ①生ごみバイオガスプロジェクト
 - ・バイオガス発電 ・消化液の液肥活用
- ②竹プロジェクト ・隣接市で実施するバイオマス発電への燃料(竹材)供給
- ③紙からエタノール変換プロジェクト
 - ・一般廃棄物系紙ごみを原料としてバイオエタノールを製造、自動車燃料等に活用
- ④紙おむつ再生プロジェクト
 - ・事業系一般廃棄物である紙おむつを回収、再生紙おむつの原料、RPFとして利用

4. 地域波及効果

- ①経済波及効果 3,278百万円
- ②新規雇用創出効果 11名
- ③その他の波及効果
 - ・再生可能エネルギー創出量 1,351千KWh/年(電力換算)
1,668GJ/年(熱量) 17KL/年(エタノール)
 - ・温室効果ガス排出削減量 3,977t-CO₂/年
 - ・燃やせるごみの減量 約26,000t/年

5. 実施体制

- ・事業の進捗管理、各種調整は市が主体となって行う
- ・事業化プロジェクトは、産官学民構成員から成る「宇部市バイオマス産業共創コンソーシアム」が推進、市は側面的支援を行う

宇部市バイオマス産業都市構想の概要

目指す将来像

自然と技術とみんなのちからで
資源がめぐり 環境にやさしい
魅力あふれる元気なまち

基本目標

- ① 地域資源を有効に活用し、持続可能で環境にやさしいまち
- ② 環境ビジネスや環境保全型の農林業が盛んな、にぎわいと魅力あふれるまち
- ③ 産官学民連携の「宇部方式」により、市民一人ひとりが主役となる元気なまち
- ④ エネルギーを自給でき、災害に強く安心して暮らせるまち

